定 例 記 者 会 見

令和８年８月１８日（火）13時30分

１　市政の動向
２　主な議案等のポイント
３　補正予算のポイント
４　GX戦略地域について

薩摩川内スピリッツ

さつませんだいし
薩摩川内市
SATSUMASENDAI City

薩摩川内
SDGsチャレンジ

1　市　政　の　動　向

■前回定例記者会見（令和８年5月29日）から令和８年第３回薩摩川内市議会定例会閉会（令和８年７月６日）までの動向

⑴　南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会を開催

5月30日、SSプラザせんだいで、南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会を南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会の主催により開催しました。

5年連続となる本決起大会には、地元選出の国会議員や関係者等約800人が参加し、当該道路の早期完成を国等関係機関に強くアピールする機会となりました。



⑵　南九州西回り自動車道の未開通区間（阿久根川内道路）の解消に対する支援を要望

6月4日、東京都で全国高速道路建設協議会第62回総会が開催され、鹿児島県関係国会議員に、市長が要望団班長として南九州西回り自動車道の未開通区間（阿久根川内道路）の解消に対する支援を強く要望しました。

また、7月27日には、南九州西回り自動車道建設促進協議会（会長 塩田康一鹿児島県知事）、南九州西回り自動車道建設促進期成会（会長 田中良二市長）、熊本県議会県南振興議員連盟、鹿児島県議会南九州西回り自動車道建設促進議員連盟が合同で国土交通省、財務省に対し、南九州西回り自動車道の整備推進等について要望を行いました。





⑶　新属新種の哺乳類化石について発表「コシキバータル・カシマエンシス」

下甑島北部（鹿島町）に分布する今から約8000万年前の後期白亜紀の地層（姫浦層群）から発見された哺乳類の化石が、当時の北半球を中心に繁栄していた多丘歯類(たきゅうしるい)の右下顎と判明し、6月5日に記者発表を行いました。愛媛大学の楠橋直(くすはしなお)准教授や学生 (当時)の世羅拓真(せらたくま)氏らの研究チームにより、この多丘歯類は新属新種「コシキバータル・カシマエンシス」と命名されました。





⑷　線状降水帯の発生により本土地域で浸水被害が発生

6月24日、 8時19分の線状降水帯直前予測からわずか29分後の8時48分に本土地域で線状降水帯が発生しました。

1時間当たり100ミリメートルを超える集中豪雨により、住宅の浸水、がけ崩れに伴う道路への土砂の流入などの被害が発生しました。

市では、災害復興（復旧）対策本部会議において協議を重ね、復旧と被災者支援に全力を挙げて取り組んでいます。

○主な対応状況
- 災害救援物資の提供
- 支援内容を記載したチラシを配布
- り災証明書・被災届出証明書の発行
- 休日窓口開庁
- 被災者向けの入居可能な市営住宅確保
- 災害ごみの受け入れ
- 災害ごみ仮置き場の設置
- 災害ごみの戸別回収
- 水道料金など各種減免措置を実施
- 床上、床下浸水住家等の消毒作業
- 保健師による健康相談

- ふるさと納税による災害支援
- 見舞金の支給
- 既設排水ポンプの点検
- 臨時排水ポンプの増設
- 携帯型エンジン始動補助機の配備
- スポットクーラーの無料貸出

○社会福祉協議会
- 災害ボランティアセンターの開設
  床下乾燥用送風機100台を無料貸出
  車の無償貸出

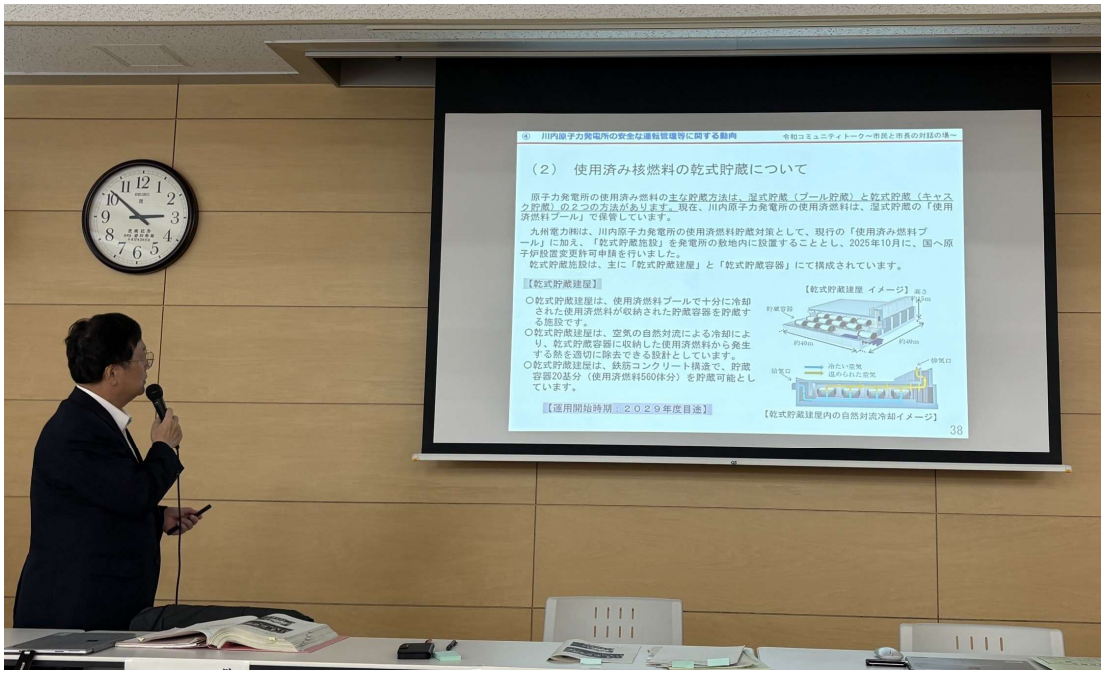


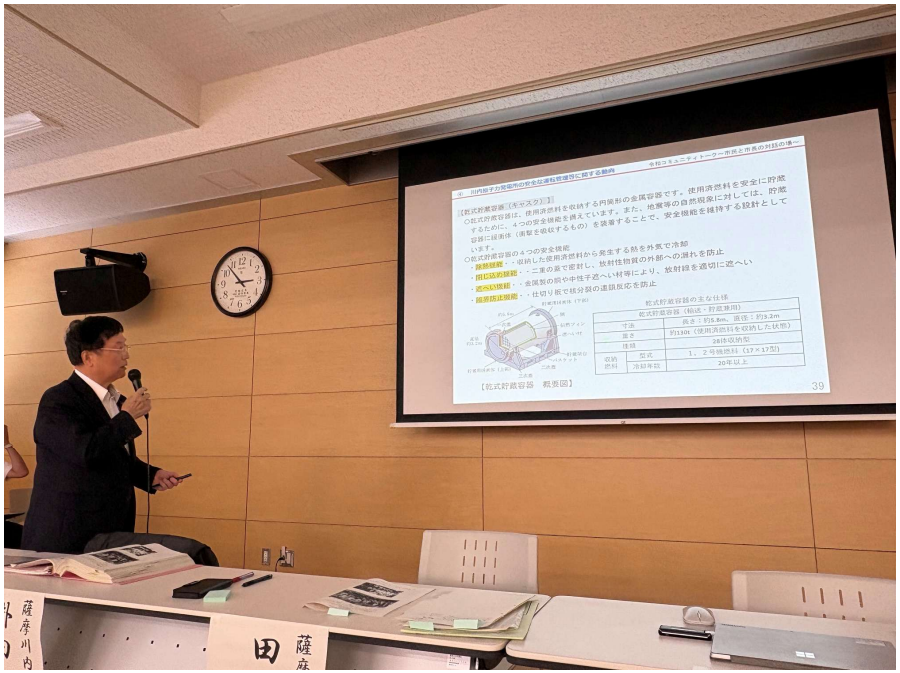
■令和８年第３回薩摩川内市議会定例会閉会後（令和８年７月６日～）の動向

⑸　令和コミュニティトークを開催

7月8日から、市長が地域に出向き、市民と一堂に会し対話を重ねる令和８年度令和コミュニティトークを開催しています。

地区振興計画や各地区コミュニティ協議会からの議題などのほか、今年度は、川内原子力発電所の使用済み核燃料の乾式貯蔵に関する説明を行い、意見交換を行っています。





⑹　バレーボール男子アルゼンチン代表チームの歓迎式を開催

　7月9日、バレーボール男子アルゼンチン代表チームの歓迎式を開催しました。
　歓迎式には、合宿に参加した選手16名、スタッフ6名の計22名が出席し、本市や鹿児島県などの関係団体から鹿児島の特産品が贈呈されました。
　アルゼンチン代表チームの本市での合宿は今回で4回目となり、バレーボールネーションズリーグ大阪大会に向けた事前合宿として、7月8日から7月13日までの日程で実施されました。



⑺　南九州西回り自動車道建設促進期成会の会長に就任

　7月13日、市長が南九州西回り自動車道建設促進期成会（鹿児島・熊本両県の沿線自治体の首長、議長等で構成）の会長に就任しました。
　昭和55年の設立以来、出水市長が会長を務められ、整備促進に御尽力されてきました。
　芦北出水道路は令和10年度の全線開通の見通しであり、残る区間は阿久根川内道路のみとなります。
　残る区間の早期の整備完了と全線開通を目指し、会長として取り組んでまいります。





⑻　川内川の川内市街部改修事業等の推進について要望

7月15日、川内市街部改修促進期成会が、国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所に対し、川内川流域における治水対策の強化と防災・減災など、川内市街部改修事業等の推進について要望を行いました。



⑼　川内港の着実な整備推進について要望

　７月15日、川内港整備促進期成会が、国土交通省九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所に対し、港湾関連予算の確保や川内港の着実な整備推進について要望を行いました。



⑩　「九州初」避難所の感染症対策、空気質改善を目的とした協定を締結

7月16日、一般財団法人住宅都市工学研究所と「災害時における組立式空気清浄機の優先的供給及び設置に関する協定」を締結しました。避難所での感染症対策、空気質改善を目的とした協定であり、九州では本市が初めての締結となりました。

今後も災害に強く誰もが安心して避難できるまちづくりに、より一層取り組んでまいります。







⑾　カイシンデジタルインフラストラチャー（凱信数基）株式会社と『川内港背後地におけるＡＩデータセンター新設に関わる立地協定』を締結

7月18日、本市とカイシンデジタルインフラストラクチャー（凱信数基）株式会社との立地協定締結の調印式を行いました。

本年2月12日に本市、鹿児島県、カイシンデジタルインフラストラクチャー（凱信数基）株式会社、サーキュラーパーク九州株式会社、九州電力株式会社の5者により、AIデータセンターの早期開設に関する覚書を締結し、データセンター開設に向けた準備を進めてきました。

本計画は、本市サーキュラーパーク九州敷地内において、実証運用を開始した後、段階的に拡張し、国内最大級となる累計350メガワット規模のAIデータセンターを整備するものです。



⑿　「AIデータセンター集積を見据えた地域共創連携協定」を締結

7月22日、本市、国立大学法人鹿児島大学、九州電力株式会社及びソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社は、本市へのAIデータセンター集積を見据え、デジタルインフラと資源循環による持続可能な地域モデルの実現を目指し、4者がそれぞれの知見や資源を持ち寄り連携・協力するため、地域共創連携協定を締結しました。





⑬　市電設協会と「指定避難所における停電対策等の支援に関する協定」を締結

7月24日、薩摩川内市電設協会　佐藤壮一郎会長と「指定避難所における停電対策等の支援に関する協定」を締結しました。

今後も、指定避難所の機能強化と避難者生活の安定に取り組みます。





⑭　市ぶどう部会が鋏入式を開催

7月25日、入来町浦之名のぶどう園において市ぶどう部会による鋏入式が開催されました。
本市は、ぶどうの生産量が県内1位、栽培面積が県内2位の実績を誇る県内有数の生産地で、生産者の皆さんが丹精込めて育てたぶどうは、甘みとみずみずしさが特徴です。今年も旬を迎えた新鮮で高品質なぶどうが出荷されています。
今後も関係機関と連携し、ぶどう生産の振興と農業の活性化に取り組んでまいります。







⑮　ひっ飛べ薩摩川内ジュニア英国語学研修事業歴史講座・出発式を開催

7月25日、将来のリーダー育成を図るため、英国語学研修の充実を通して、国際的な視野を広めることを目的として、５人の中学生をロンドン大学サマースクールへ派遣する出発式と歴史講座を開催しました。

当日は、神田外語大学教授 町田明広（まちだあきひろ）先生の「薩摩スチューデントが開いた近代日本－五代友厚と長澤鼎」と題した歴史講座があり、語学研修の意義について理解を深めました。

また、出発式では、今年度派遣者の中学生5人が日本語と英語を交えながら、研修への期待や抱負、参加への決意を発表しました。







⑯　川内川の改修促進等について国土交通省等へ要望

7月27日、川内川改修促進期成会（会長　鹿児島県知事）、川内川下流改修促進期成会（会長 薩摩川内市長）、川内川上流河川改修期成同盟会（会長 伊佐市長）の3期成会が合同で、国土交通省、財務省、地元選出国会議員に対し、川内川の改修促進等について要望を行いました。



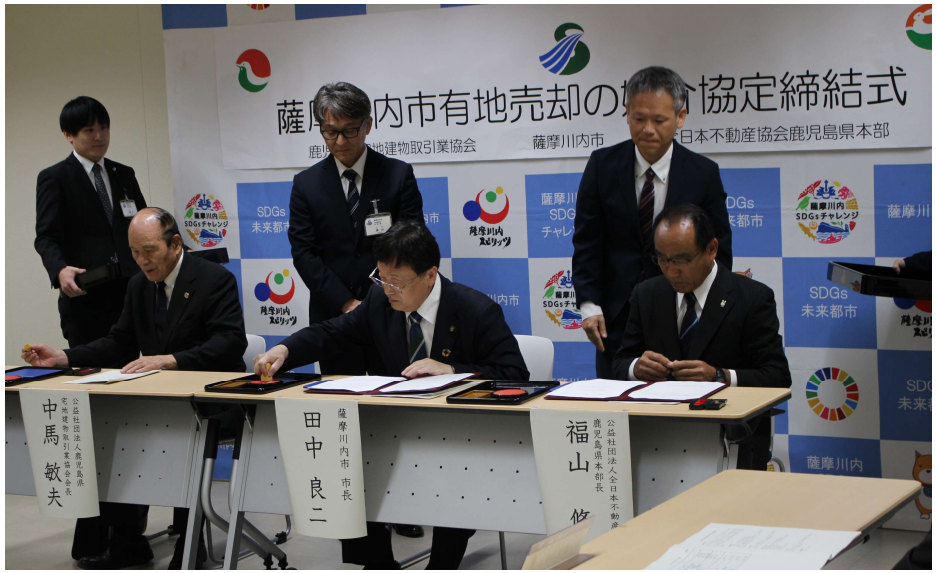
⑰　市有地売却の媒体に関する協定を締結

7月28日、公益社団法人鹿児島県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会鹿児島県本部と「薩摩川内市有地売却の媒介に関する協定」を締結しました。

市は、未利用となっている市有地について、民間活力を活用した有効活用を図るとともに、自主財源の確保を推進するため、市有財産の売却に取り組んでいます。

両団体が有する広範な民間不動産ネットワークを最大限に活用できる環境が整ったことで、市は、これまで以上に市有財産の売却推進につなげ、自主財源の確保に取り組みます。





⑱　令和８年　熊本地震発災

7月28日、16時27分　熊本地方を震源とするマグニチュード７．１（暫定値）の地震が発生しました。　熊本県宇城市、氷川町では、最大震度７を観測し、本市の本土地域でも震度５強が観測されました。

市内の被災者への支援に取り組むとともに、熊本県の被災自治体への支援に取り組んでいます。

○被災地への支援

- 緊急消防援助隊の派遣
- 被災地の避難所運営等の支援
- 下水道施設復旧支援
- 災害派遣用トイレカーの派遣
- 災害義援金箱の設置
- ふるさと納税の代理寄附
- 被災建築物応急危険度判定の支援
- 公費解体窓口対応の支援

○被災地から本市へ避難された被災者への支援

区分	市営住宅	ボランティアによる民泊	実家・親族宅
住宅提供戸数	12戸	―	―
住宅使用料 敷金	免除	―	―
水道料金	免除		
下水道使用料	被災された方が水栓使用者となる場合に限る		
移動支援	1人当たり2万円を1回限り（ただし、小学生以下は1/2）		
生活支援	10万円に、1人増す毎に5万円を加算した額を１回限り（上限30万円）		左記算定額の1/2 （上限15万円）
子ども支援	1人当たり10万円を1回限り（申請時において18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者に限る。）		
教育支援	就学援助制度による給食費・教材費等の援助		
保育園等　保育料	幼稚園、保育園、認定こども園の保育料等を免除		
市税等期限 延長措置	熊本県八代市、宇土市、宇城市及び八代郡氷川町の個人・法人に係る市税の申告・納付等の期限の延長		

⑲　バレーボール男子日本代表が合宿

８月10日から15日まで、バレーボール男子日本代表Ａチームが市総合運動公園 総合体育館（サンアリーナせんだい）で合宿を行いました。

11日、12日、15日は、公開練習を行い、市内外から多数の方が来場されました。

12日は、市民を対象とした練習を無料で公開し、世界と戦った選手の迫力あるプレーを間近で感じる機会となりました。







⑳　市特別職報酬等審議会を設置

８月10日、市特別職報酬等審議会を設置しました。
これは、昨今の物価高騰や継続的な賃上げが見られるため、議員報酬の改定について検討の必要があったことから、本審議会を設置し諮問しました。
今後、委員の皆様の豊富な知識や経験からなる公平・公正な意見や提言を市は真摯に受け止め、今後の判断に反映してまいります。



⑵1　東海第二原子力発電所の乾式貯蔵施設を視察

８月14日、市長は、茨城県東海村にある日本原子力発電株式会社東海第二発電所を訪問し、『使用済燃料乾式貯蔵施設』を視察しました。

視察では、施設の構造や運用状況、乾式キャスクの安全機能、使用済燃料の管理状況等について説明を受け、乾式キャスクの保管状況など実際の施設内部を確認しました。

市では、引き続き九州電力株式会社に対して、安全確保を最優先にした運転管理の徹底と市民の皆様に対する丁寧な説明、国に対して、厳格な審査・監視・指導の実施を要請していきます。





２　主な議案等のポイント

議　案　　合計 25件

１　一般議案　　17件

２　令和８年度補正予算関係議案　　８件

【令和８年第４回薩摩川内市議会定例会　議案　その1】124－1～127－1ページ参照

議案第124～127号　　財産の取得について

（仮称）上甑島診療所の新設に伴い、医療機器を整備するため、透析装置一式、歯科機器一式、Ｘ線透視撮影装置一式、マルチスライスＣＴ装置一式を取得しようとするもの

所管課：保健政策課

3　補正予算のポイント

⑴　第３回補正予算

○一 般 会 計

・補正額　18億3,787万2千円

・補正後の予算額　622億7,841万2千円

【令和８年度第3回補正予算の概要】Ｐ３参照

令和８年６月線状降水帯発生による大雨災害に伴う復旧事業

１　災害被災者支援事業：3,269万2千円

被災者への支援物資の供与及び応急修理費用等を支援します。

- ○　生活必需品供与
- ○　障害物除去
- ○　住宅の応急修理
- ○　学用品供与
- ○　災害ボランティアセンターの運営支援

（担当課：福祉政策課）

２　道路維持事業：2,300万円

市道等の崩土除去、倒木処理、道路清掃等を実施します。

(担当課：道路河川課)

【令和８年度第３回補正予算の概要】Ｐ３～４参照

３　現年公共農林水産施設災害復旧事業：3億2,250万円

農地や農業用施設の復旧事業を実施します。（担当課：耕地林務水産課）

４　現年単独農林水産施設災害復旧事業：6,100万円

農業用施設や林道等で、公共災害（国庫補助対象事業）に該当しない倒木や崩土除去等の復旧事業を実施します。　（担当課：耕地林務水産課）

５　現年公共土木災害復旧事業：１億2,000万円

市が管理している道路・河川の復旧工事及び測量設計に要した経費を追加し、今後の災害対応に備えます。　（担当課：道路河川課）

６　現年単独土木災害復旧事業：4,500万円

市が管理する道路・河川等について、公共災害（国庫補助対象事業）に該当しない復旧工事を速やかに実施します。　（担当課：道路河川課）

【令和８年度第３回補正予算の概要】Ｐ５参照

⑴　保育所等給食支援事業【新規】

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、栄養バランスや量を保った従前どおりの給食等の実施が確保されるよう、保育所等に対し、必要な経費を支援します。

＜対象施設　44施設＞
保育所、認定こども園、地域型保育事業所、私立幼稚園

＜事業費＞　1,586万4千円

事項名：児童福祉管理運営費（担当課：子育て支援課）

【令和８年度第３回補正予算の概要】Ｐ７参照

⑵　ＡＩ・ＧＸ推進事業【新規】

（仮称）唐浜産業用地におけるＡＩデータセンター及び関連産業の集積を図るための検討・調整並びに産学官連携体制を構築します。

ＡＩ・ＧＸ推進事業支援業務委託

＜事業費＞　2,300万円

事項名：企業立地事業費（担当課：新産業創造室）

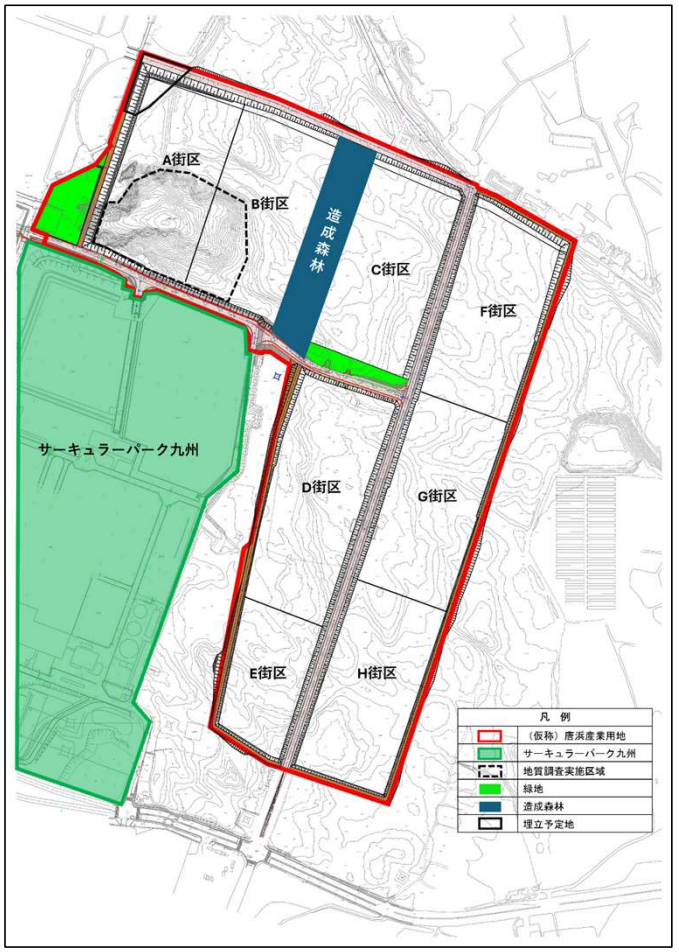
●（仮称）唐浜産業用地に係る市場性調査の実施

（仮称）唐浜産業用地の整備にあたって、土地需要を把握し、開発の検討に活用するために「市場性調査」（①立地意向調査・②用地開発・分譲事業等実施意向調査）を実施します。

○市場性調査の概要

	①立地意向調査	②用地開発 ・分譲事業等実施意向調査
内容	用地への企業の立地意向について調査する。	用地開発・分譲、工業用水道延伸整備・運用事業への企業の進出意向について調査する。

○　期間
令和８年８月１８日（火）～１０月３０日（金）



【右上図】
（仮称）唐浜産業　用地の
開発・分譲用地イメージ
※赤枠内が（仮称）唐浜産業用地

【令和８年度第３回補正予算の概要】Ｐ７参照

⑶　下水道ストックマネジメント事業【追加計上】

令和７年度に実施した全国特別重点調査において、緊急度Ⅰが確認された雨水渠について、修繕等の対策を実施します。

実施設計業務委託	中郷下目都市下水路	Ｌ＝　３９５ｍ
断面修復工事	銀杏木川都市下水路	Ｌ＝１，２２７ｍ
	住連木都市下水路	Ｌ＝　２９ｍ

＜事業費＞　9,510万円

事項名：都市下水路管理費（担当課：下水道室）

【令和８年度第３回補正予算の概要】Ｐ８参照

⑷　水道料金減免対策事業【新規】

物価高騰の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、水道事業及び簡易水道事業に係る水道料金の基本料金減免による減収分を全額補助します。

○　減免期間
　令和８年１２月請求（１０月・１１月使用）分から令和９年１月請求（１１月・１２月使用）分までの２か月間
　※　現在実施中の８か月間の減免を２か月間延長します。

＜事業費＞　水道事業　　7,890万円
簡易水道事業　556万円

事項名：水道事業費、簡易水道事業費（担当課：経営管理課）

4　GX戦略地域について

●「GX戦略地域」の選定（最終審査）に向けた対応

本市が鹿児島県と共同申請した「データセンター集積型」及び市単独で申請した「脱炭素電源活用型」の２類型について、選定（最終審査）に向けた審査資料を提出しました。

「GX戦略地域」とは、脱炭素電源等を核とした「新たな産業クラスター」の創出に向けて、国が創設した制度になります。

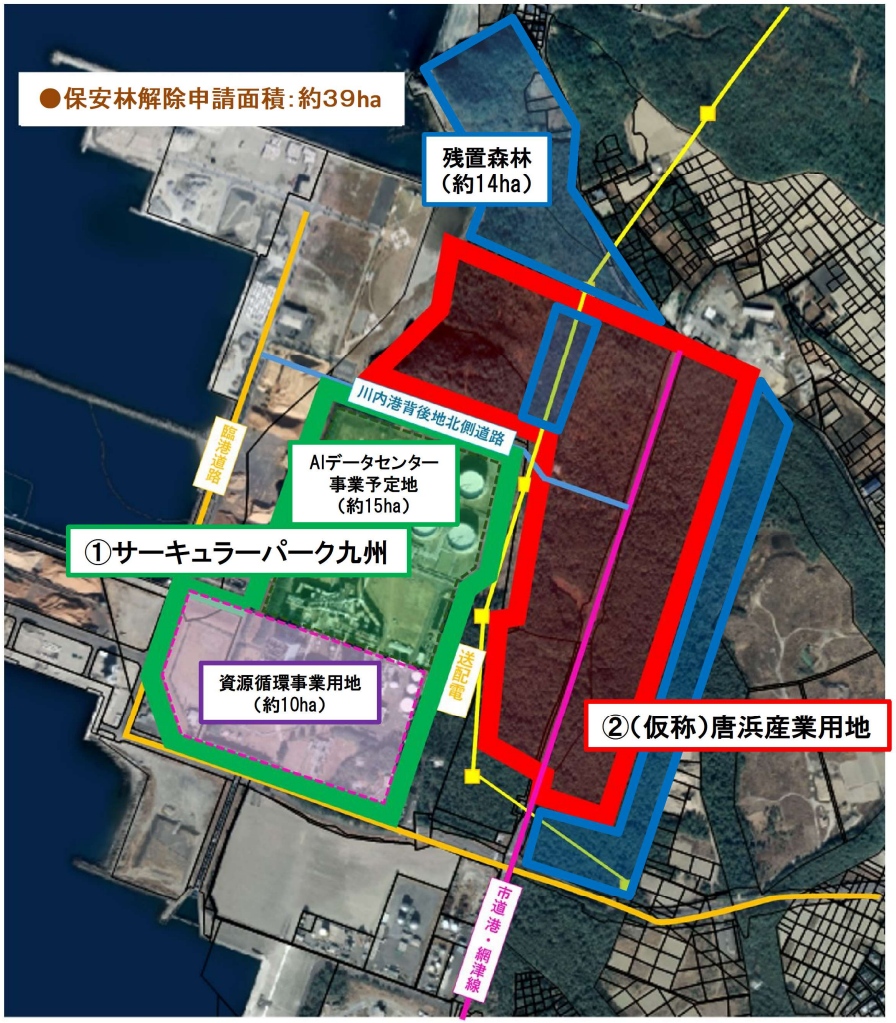
「GX戦略地域」の選定（最終審査）結果は、本年夏頃に公表されることとなっています。

○　申請概要

	データセンター集積型	脱炭素電源活用型
場所	①サーキュラーパーク九州 ②（仮称）唐浜産業用地	（仮称）唐浜産業用地
対象業種	データセンター（1,000MW）	①情報サービス業、②製造業、③運輸業、 ④資源循環業
主な記載事項	インフラ整備、脱炭素、競争力強化、地域共生に関する観点等	インフラ整備、脱炭素、競争力強化関する観点等

4　ＧＸ戦略地域について

○（仮称）唐浜産業用地開発に係る事業面積及び区画イメージ



①サーキュラーパーク九州　約25ha

カイシンデジタルインフラストラクチャーサツマセンダイシ
凱信数基薩摩川内市AIデータセンター
350MW立地予定

・AIデータセンター事業予定地　約15ha
・資源循環事業用地　約10ha

②（仮称）唐浜産業用地（分譲用地）
約25ha

※残置森林を含む保安林解除面積　約39ha
（※残置森林・造成森林面積　約14ha）

新たな産業用地を整備予定
（AIデータセンター及び関連産業等事業用地）

【ＧＸ戦略地域の申請区域】

①＋②：データセンター集積型
※鹿児島県と共同申請

②：脱炭素電源活用型
※薩摩川内市申請

質疑応答

・議案及び補正予算
・その他

質疑応答

＜議案及び補正予算＞

質疑応答

＜その他＞

9月議会定例記者会見へのご参加

ありがとうございました。

配布資料にあります、薩摩川内市取材情報9月～12月(行事・イベント)につきましても取材等、よろしくお願いします。